

数十年後は、これがふつうの冬？！

2月21日、畑に小さなフキノトウが顔を出しているのを見つけました。朝の味噌汁の中に入れて食べたら、ほろ苦い味とフキノトウの香りが、さわやかな春の味。2月6日には畑でヒバリが鳴き始め、20日にはウグイスの初鳴き。どちらも昨年より2週間ほど早く、春がかけ足で近づいてきているように感じます。

記録的と言われる今年の暖冬。昨年の冬がひどく寒かっただけに、その差を大きく感じます。ハウスの中に時期をずらして種まきをしているラディッシュは、予想以上に早く大きくなり、とりきれないものも出てきています。2月21日の朝日新聞によれば、暖冬の直接の影響かどうかははっきりしませんが、冬野菜がとれすぎて値崩れする事態が続いているそうです。緊急需給調整のために全国で廃棄された野菜の総量は、約2万2千トンに上るとか。畑で出荷できなかった大根を持って帰り、自分で切り干し大根を作っているはしもっちゃんの姿が、私にはキラッと輝いて見えました。

こんなに暖かいと虫が死なない。



2月2日、畑の積雪は5~10cm。この冬4回目の積雪です。

この冬一番の寒気がやってきたということでしたが、気温はマイナス6度くらいで、ハウスの中の野菜がひどく凍る程ではありませんでした。



タマネギは、一回めの草取りがすみました。

エンドウ豆が大きくなってきました。



2月20日、誘引のためのネットを張りました。



2月末だというのに、もうヒヨドリ群れの群れがやってきて、白菜やホウレン草などが食べられてしまっています。

先月、冬野菜についてのご感想をお聞かせ下さいとお願ひしましたところ、たくさんの方からメッセージをいただきました。スープにしたり、蒸し煮にしたり、冬野菜のおいしさを引き出す工夫がいっぱいで、本当にありがとうございました。ぜひまた、ご感想などをお聞かせ下さい。

4月、山本ファミリー農園は10才の誕生日を迎え、11年目に入ろうとしています。野菜を食べて下さる皆様からのひと言ひと言が、私たちのエネルギーになります。野菜についての感想など、どうぞ皆様の声をお聞かせ下さい。

たくさんの方からのメッセージをお待ちしています！

